

2. 指標設定

成果指標	指標名	健康寿命(介護認定していない年齢)	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	83歳			総合計画/後期基本計画において、基本施策(1-1-3)の目標にある要介護の重度化防止によるため			
活動指標	指標	a	はり、きゆう利用率	b	敬老祝品支給者数	c	ねんりんピック参加人数	d
	数値	目標	70%	目標	650人	目標	200人	目標

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
健康寿命(介護認定していない年齢)	歳	79.77 歳	79.97 歳	80.06 歳
		96.1 %	96.3 %	96.5 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a はり、きゆう利用率	%	53.95 %	54.38 %	52.80 %
		77.1 %	77.7 %	75.4 %
b 敬老祝品支給者数	人	684 人	632 人	695 人
		105.2 %	97.2 %	106.9 %
c ねんりんピック参加人数	人	200 人	191 人	192 人
		100.0 %	95.5 %	96.0 %
d				

4. 課題と対応

課題
高齢者は定期的運動をすることが、介護予防に効果があることの認識がまだ弱い。ねんりんピック参加者は老人クラブ会員が多いため社協との調整が必要
対応(改善点等)
・社協と定期的に打ち合わせ会議実施 ・はり、きゆうの保険適応事業所の取扱調整の実施

5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

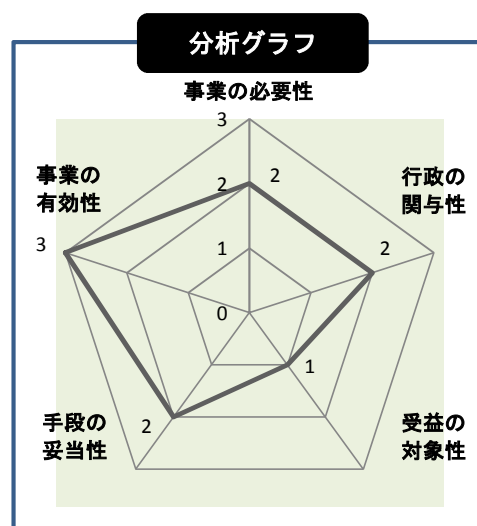
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		13,122	7,315	16,560	13,064
うち経常経費		9,572	6,172	16,560	9,408
財源内訳	国費	0	0	0	0
	県費	0	0	7,186	0
	市債	0	0	0	0
	その他	3,550	1,143	3,117	3,656
	一般財源	9,572	6,172	6,257	9,408
うち経常		9,572	6,172	6,257	9,408
事業費に係る人件費		13,669	13,738	13,139	13,330

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
現在60歳～64歳(3,700名程度世代年齢数が925名)が人口構成上一番多い。継続的事业である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 他町村の状況を踏まえ、敬老祝い品事業(80歳)は、考察必要がある
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 高齢者健康づくりに繋がる事業であるが、ねんりんピック事務局は考察の余地ある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 65歳以上の高齢者に対する健康づくりの事業である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 はりきゆうのμ受給率は平均50%程度、受給率上昇と健康づくりとは因果関係は薄い
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 高齢者健康づくりに繋がる要因と考える



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	経費削減に努めること